

VISTA 7 ユーザーレポート

株式会社エフエム東京 様

VISTA 7

TOKYO FM
80.0MHz

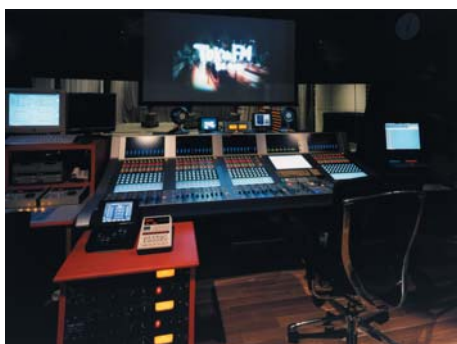
Earth Gallery Studio Iris 完成。メインコンソールに VISTA 7 を採用



株式会社エフエム東京
技術局 技術部
川島 修

スタジオ構築のコンセプト

TOKYO FM では、19 年来稼働してきたレコーディングスタジオおよびTFMホール録音室の老朽化により、この2室の更新計画を検討しておりました。限られた費用の中でハイクオリティサウンドを制作できるスタジオを構築するために我々が選択した方法は、旧来のレコーディングスタジオの設備を更新し、ここでスタジオ、TFMホール2箇所のコントロールをできるシステムを構築することでした。つまり、一点豪華主義で1室の更新を行い、ここで2つの場所のコントロールを行う方法を採用しました。



Earth Gallery Studio Iris

Studio Iris (スタジオ・イリス) は、旧来の音声レコーディングスタジオとしての機能だけではなく、ブロードバンドコンテンツの制作スタジオとして、つまり映像コンテンツ制作機能を持つスタジオ、またTOKYO FMが今年からチャレンジしている5.1chサラウンド音声の制作スタジオとしても機能します。

コンソールの選択

決して広くないコントロールルームに適した省スペース設計、映像システムとの親和性、ハイクオリティサウンド、5.1chサラウンド対応、これらのスペックを満たし、かつコストパフォーマンスに優れたコンソールを検討した結果、これらの要件に最もフィットしたのがVISTA 7でした。また実用的側面のみならず、VISTA 7の未来的な外観デザイン、今までに無い斬新なマンマシンインターフェイス (Vistonics) も、このスタジオにふさわしいと考えております。

光パッチによる運用切替

冒頭でも説明したように Studio Iris は、スタジオとTFMホール2箇所のコントロールを切替えて運用する必要があり、どのようにしてこの命題を解決するか悩みましたが、スチューダージャパンおよび工事担当のテクト殿のご尽力により、光回線のパッチでスタジオ / TFMホール

を切替える方式を構築することが出来、スムーズな2箇所の運用切替が可能となりました。

コントロールルーム・アコースティック

旧レコーディングスタジオ時代から課題となっていたのが、コントロールルーム内のアコースティック改善でした。この部屋はコンソール前方に頂点があり、ステレオ2chのアコースティックを構築するのにも工夫必要でした。それに加えてスタジオの奥行きが非常に狭いこの部屋で5.1chサラウンドのリスニング環境を整備することは、かなり困難なことであると考えておりましたが、日東紡音響エンジニアリング殿の永年のノウハウと、あくなき理想の追求により、課題となっていたステレオ試聴環境も、5.1chサラウンドの試聴環境も十分仕事ができるアコースティックを構築していただきました。

Studio Iris の今後

Studio Iris は、今後のTOKYO FMにおける、より良いサウンド、良質なコンテンツ創りに活躍することとなります。ハイクオリティサウンドのFM番組はもちろんのこと、ブロードバンド放送を支援し、TOKYO FMのフラッグシップスタジオとして、このスタジオを活用していきたいと考えております。